

常任委員会審査報告

総務企画常任委員会報告

ひたち野リフレプラザ 令和5年2月1日開設に向け準備進む

(問) 本庁舎から移動する職員は同名か。現在でもマイナンバー申請などで窓口は混雑しており、想定外の対応が発生した場合は。

(答) 常勤職員10人が本庁舎と同等の転入転出届けや各種証明書発行などの窓口業務にあたる。混雑が予想される時は、市民部の職員等の応援で対応していく。

(問) 2階フリースペース、有料の3階スカイスペースの利用時間が21時までとなっているが、利用料金等の管理体制は。

(答) 17時15分までは職員が担当、夜間は管理人1名が常駐し安全確認をする。スカイスペースのブースは7カ所で電源、照明、フリーWiFiを整備し、使用料金はリフレ窓口で対応するが、券売機導入を予定している。



ひたち野リフレビル

ひたち野うつくし郵便局での 証明書等発行事務を終了

(問) リフレプラザが令和5年2月1日開設されるが、郵便局への委託終了を3月31日までに行っている理由は。

(答) 契約期間を年度末としていること、市職員の異動の時期でもあり、万が一の担保として3月末までとしている。

稲敷・龍ヶ崎地方3組合の 統合に伴う規約の変更等



(問) 将来的にごみ処理も広域化が検討されているようだが、現在稼働している牛久クリーンセンターは、地元奥原地区との協定がある。地域住民と話し合いはされているのか。

(答) 今後、ごみ処理の広域化の流れがあるという話は、廃棄物対策課から話をしている。市として地元との協定は順守しなければならず、牛久クリーンセンターを地元の同意なしに広域化することはあり得ないと考えている。

(意見) 当初統合をすれば経費が抑えられるとのことであったが、精査したところ市の負担が今後10年で増え、議員定数も現在の半数以下になると、議会としての意見や考え方が反映されているとは言えない。

議会として調査研究に努める必要があり、継続審査とすべきである。

稲敷・龍ヶ崎地方3組合の統合とは



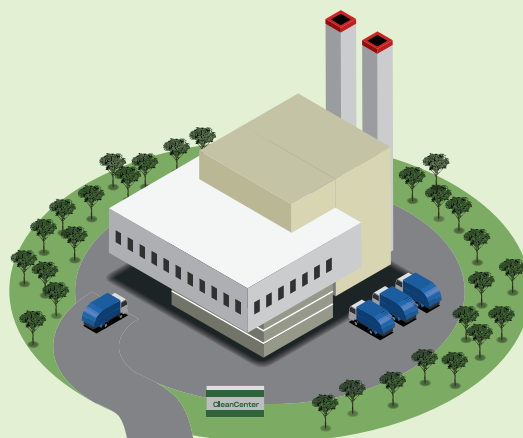
○龍ヶ崎地方衛生組合（事務内容はし尿処理、構成市町村は牛久市を含む4市3町1村）

○稲敷地方広域市町村圏事務組合（事務内容は消防・水防、構成市町村は牛久市を含む3市3町1村）

○龍ヶ崎地方塵芥処理組合（事務内容はごみ処理、構成市町村は1市2町）

右記の3組合を統合して人口減少時代に対応し安定した公共サービスを提供していくことを目的とし、新組合を令和5年4月に設置する計画である。その後、ごみ処理や斎場の広域化、複合化も進めることとなっている。

新組合移行後の牛久市の分担金は令和5年度は9億7600万円だが、令和14年度は10億3800万円と試算された。



教育文化常任委員会報告

刈谷3丁目より市道23号線への 坂道設置に関する請願書

刈谷から市道23号線へ、児童が通学路として利用可能な坂道を、早急に設置することを求める決議を行うように、牛久市議会へ請願するものである。

(賛成) 子どもの通学路の安全性の確保と、地域の高齢者の方々には、階段がかなり急なので、その利便性を考えると、できれば早急に実施してほしい。

学路の安全
児童の安心のため

決議案を直ちに提出し可決
賛成全員により請願は採択され、直ちに決議案「児童の通学路の安心・安全を求める決議について」を提出し、賛成全員により可決されました。



刈谷から市道23号線への階段

常任委員会審査報告

保健福祉常任委員会報告

市公立保育園再編計画に基づき、向原保育園を閉園

(問) 民間・公立保育園の定員、公立の役割は。
(答) 民間の利用定員は1659人、公立は430人だが、向原保育園閉園に伴い令和5年からは370人となる。公立保育園は、需要が減る中で民間保育園の定員割れを防ぎ、また重度障害児の受け入れを役割と考えている。
(問) 待機児童数、閉園に伴う加配、正規職員や会計年度職員の今後は。

(答) 最新の待機児童数は国基準でゼロ。加配は保育士が他の3園に異動するので対応できる。正規職員は公立保育園に異動、会計年度職員は令和4年度更新し、希望者は任用していく。

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

(意見) 高齢者は重症化も懸念され補助は必要と考える。

知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書

(意見) 障がいの定義、手帳の統一は重要課題である。

閉会中継続調査「保育園の現状について」

各地の事件事故の報道を受け、市内状況を調査する。

環境建設常任委員会報告

物価高騰に対し賃上げの実現を求める意見書

働く人が豊かになることが、経済も強くなるとして、政府に賃上げを実現するよう求める意見書であり、非正規労働者の時給を1500円以上に引き上げることや男女の賃金格差を是正すること、大企業の内部留保を中小企業に還元することなどが内容である。

(意見) 長引く不景気に賃上げが必要であるが、国の施策も十分でないことから意見書を提出すべきである。

中小企業や農漁業者などに対し支援を求める意見書

長引くコロナ禍や物価高騰、過剰債務などによる中小企業や小規模事業者、農漁業者の廃業、倒産危機を打開する支援策を政府に求める意見書であり、地域経済を立て直すため令和5年10月から導入予定のインボイス制度の中止、事業者への給付金創設や農漁業者への直接補填の仕組みなどを求めるものである。

(意見) インボイス制度に関しては中小企業には負担と混乱をもたらしていることもあり、コロナ禍や長引く不況のなか国に対策を求めるべき。

予算常任委員会報告

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額、LED照明等の設置などについて審議された。

ふるさと牛久応援寄附金
(1億5000万円増額)

(問) 寄附金額が増えた要因と今後の寄附金額の見込みは。

(答) ポータルサイトの拡充や返礼品のラインナップを強化するとともに、サイト上に牛久市の返礼品が効果的に表示されるための取り組みなどを行った結果と考える。今後は、サイトの拡充をはじめ、事業者と協力した返礼品の開発、茨城県指定の共通返礼品とのコラボレーションなども考え、更なる寄附金の増加を目指していきたい。

教育施設等における電気料金高騰に伴う増額計上

電気料金の高騰により、小学校・中学校・図書館・牛久運動公園など公共施設の電気料金について増額計上された。

(問) 電気料金の高騰に伴い、各施設の電気料金が増加しているが、公共施設、学校等のLED化状況は。

(答) 学校関係では体育館に水銀灯や蛍光灯がまだ多く残っている。LED化は、年次計画を立てて行う。生涯学習センターはまだ実施されていないが、中央図書館、牛久運動公園のメインアリーナ、サブアリーナ、武道館はLED化済である。屋外野球場はされていない。

障害児給付費を支給する
(5300万40000円)

(問) 対前年度比での実人数、施設の増加数、一人当たりの平均通所日数等は。

(答) 令和3年度上半期と令和4年度上半期の実績を比較して、児童発達支援件数は259件の増加。また、令和3年度以降の新規施設開設数は、児童発達支援が6件、放課後等デイサービスが3件。令和4年度の一人当たりの平均通所日数は、児童発達支援が1カ月あたり12.2日、放課後等デイサービスは20.8日、保育所等訪問支援は2.248回の利用。



牛久市御礼品の一例

牛久市の御礼品の一例

交通安全対策費 (113万3000円)

令和4年度はコロナ禍で休止していた交通安全キャンペーンなどが再開されたこと、幼稚園児や小学生を対象とした交通安全教育事業のほか高齢者を対象とした防犯教室を休日に行うようになったため、交通安全教化員の時間外勤務が増加。